

第1号議案 2019年度事業・活動報告の承認

1. 寄付の造成

- ・ 福祉たすけあい基金、エラベル、賛助会員募集による寄付造成を行いました。財団設立7年目を迎え、昨年度1億円を突破した設立時からの寄付の総額は3月末現在で1億3,057万円となっています。
- ・ 生活クラブ組合員への情報発信、生活クラブ共済たすけあい委員会活動との連携により、福祉たすけあい基金参加者拡大をすすめました。2019年4月から2020年3月までに294人の新規取組みがありましたが、3月末の参加者は10,515人で期首より参加人数は161人の減少となっています。

1) 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

(1) 年間寄付額 12,742,600円となりました(予算比99.1%・前年比98.2%)

(2) 組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データ

2019年4月期首 10,676人

2020年3月末取組人数 10,515人

①生活クラブ福祉たすけあい基金参加者2019年度推移

		期首	3月末
横浜北	参加人数	2,260	2,197
	参加率	13.0%	12.6%
横浜みなみ	参加人数	2,225	2,210
	参加率	10.4%	10.3%
かわさき	参加人数	1,693	1,713
	参加率	14.2%	14.2%
湘南	参加人数	2,397	2,375
	参加率	12.8%	12.5%
さがみ	参加人数	2,101	2,020
	参加率	20.1%	19.3%
全体	参加人数	10,676	10,515
	参加率	13.4%	13.1%

増減 組合員人数

コモンズ(配送)参加者	7,714	7,617	-97	53,751
参加率	14.5%	14.2%		
デポー(店舗)参加者	2,962	2,898	-64	26,746
参加率	11.1%	10.8%		

②組合員寄付(月別実績)

月	金額(円)
4月	1,073,400
5月	1,065,300

6月	1,060,800
7月	1,064,500
8月	1,063,200
9月	1,071,400
10月	1,066,300
11月	1,048,000
12月	1,051,500
1月	1,064,500
2月	1,050,600
3月	1,063,100
合計	12,742,600

②参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

福祉たすけあい基金レポート (7月、11月配布)	<ul style="list-style-type: none"> ・配送組合員：全員配布、デポーター組合員：店舗置き ・寄付者への領収書発行(1月)時に同封
生活クラブ加入申込書付き レポート(7月、11月配布)	<ul style="list-style-type: none"> ・配送組合員：全員配布、デポーター組合員：店舗置き
生活クラブ機関紙「えぼ」への 情報掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉たすけあい基金参加募集、助成団体の情報掲載
贈呈式・交流会(生活クラブと 共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・助成団体の活動報告、交流と生活クラブ組合員寄付 拡大活動の報告など

2) 福祉たすけあい基金<一般寄付>

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4月	91,200	年間登録寄付者、助成団体からの寄付
5月	0	
6月	1,200	助成団体からの寄付
7月	3,600	助成団体からの寄付
8月	6,000	助成団体からの寄付
9月	3,600	助成団体からの寄付
10月	3,400	助成団体からの寄付
11月	9,600	助成団体からの寄付
12月	0	
1月	0	
2月	0	
3月	1,200	助成団体からの寄付
合計	119,800	

① 一般寄付者は、財団の前身である「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体からの寄付（一口1,200円以上で依頼／取組は任意）、フォーラム協賛寄付金で構成されています。

② 助成団体への働きかけを行いました。

<助成団体からの寄付>

・宮ノマエストロ（第10期助成団体）	1,200円
・ちがさき開智舎（10期助成団体）	1,200円
・肺がん患者の会ワンステップ（10期助成団体）	1,200円
・ひき桜（7,9,11期助成団体）	3,600円
・くるみ・来未（12期助成団体）	1,200円
・ぱくぱく食堂（9,11期助成団体）	1,200円
・ラシールド横須賀（12期助成団体）	1,200円
・OHANA（12期助成団体）	1,200円
・ぜんしん（12期助成団体）	1,200円
・ファミリア（11期助成団体）	1,200円
・本もく座（7,9,11期助成団体）	1,200円
・横浜みどりの学校ひまわり（12期助成団体）	3,400円
・ら・ぱれっと（9,11,13期助成団体）	2,400円
・つばき学習会（9,11,13期助成団体）	1,200円
・いーぷらす（7,9,11期助成団体）	6,000円
・のびの会（第10期助成団体）	1,200円
合計	24,000円

3) 財団運営費への寄付

生活クラブ生活協同組合	2,500,000円
神奈川県地方自治研究センター	10,000円
かながわ教職員組合連合	10,000円
早川運輸株式会社	10,000円
横浜YMCA	10,000円
神奈川県労働者福祉協議会	10,000円
ソーシャルコーディネートかながわ	10,000円
合計	2,560,000円

3) 子どもの貧困に立ち向かう応援基金（新プログラム）

匿名 2口	20,000円
-------	---------

4) 賛助会費

・財団としての活動の広がりや新たな事業の取り組みを進めるための財源基盤を充実させるために昨年度下期より市民基金への応援を増やす取り組みとして賛助会員制度を導入しました。今年度は、総会後の7月より賛助会員へのお知らせや新規拡大に向けた広報

活動を行いました。3月末での会員数は、団体 20（昨年度は 10）、個人 76（昨年度は 43）となっています。また、会費については 590,000 円（目標 80 万円）となっています。今年度も 1 月の領収書の送付時での広報を行い、目標達成に向けた活動を行いました。

・目標達成率は以下です。

		目標	実績	達成率
個人	人数	100 人	76 人	76.0%
	金額	20 万	180,000	90.0%
団体	団体数	30 団体	20 団体	66.7%
	金額	60 万	410,000	68.3%

i. 会員の状況

区分	人数・団体数	納入数
個人会員	76 人	64 人
法人・団体会員	20 団体	20 団体

<法人・団体会員>

	団体名	口数	金額	備考
1	(株)オルタフーズ	6	60,000	
2	(株)ウエルライフ	3	30,000	
3	英君酒造(株)	1	10,000	
4	共生食品(株)	2	20,000	
5	(株)マルモ青木味噌醤油醸造所	5	50,000	
6	(株)秋川牧園	1	10,000	
7	オルタスクエア(株)	5	50,000	
8	(株)エコグリーン	1	10,000	
9	(株)ニッコー	2	20,000	
10	(株)カジノヤ	2	20,000	
11	(株)太陽ネットワーク物流	3	30,000	新
12	(株)創立デザイン	1	10,000	新
13	新生酪農株式会社	1	10,000	新
14	(株)佐藤印刷所	2	20,000	新
15	神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会	1	10,000	新
16	(特非)参加型システム研究所	1	10,000	新
17	(株)創土社	1	10,000	新
18	(財)神奈川県地域労働文化事業団	1	10,000	新
19	(特非)はだのあすなろ会	1	10,000	新
20	企業組合エコ・アド	1	10,000	新
合計	合計	41	410,000	

2. 助成事業（公益目的事業1）

1) 2019 年度助成実績

エラベル寄付及び合計金額は 3 月末現在

	福祉たすけあい 第 12 期	福祉たすけあい スタート助成 13 期	エラベル 6 期	合計
申請団体	13	13	2	28
助成団体	11	12	2	25
助成金額	3,941,072 円	3,266,759 円	2,179,911 円	9,387,742 円

2) 2019 年度助成活動

① 通常型福祉たすけあい助成（第 12 期）

- ・ 13 団体から申請があり、11 団体に助成しました。多世代が交流する地域の居場所づくりに関する助成が多く、高齢者、子どもだけでなく若者も関わって、地域の場づくりやネットワークづくりなど意欲的な活動する団体が地域に広がっています。また、第 12 期では DV 支援、引きこもりからの申請が増えたことも特徴です。

② 第 5 期スタート助成（13 期）

- ・ 13 団体より申請があり、3 期連続申請 4 団体、2 期連続（中断含む）申請 4 団体、初回申請団体が 5 団体となりました。申請活動分類としては、継続・新規ともに居場所に関する申請が 8 団体と多く、その対象も子ども（子育て）、高齢者など様々です。その他では、福祉移送サービス、子ども食堂、子育て相談、聴覚障害など多岐にわたります。

また、スタート助成は 5 期目を迎えて継続申請する団体が増え、新規事業・活動のステップアップ支援につながっています。一方では昨年度同様、申請団体数が若干減少傾向にあることから基金の活用団体を広げるには新たな申請団体を増やしていくことが必要で、市民活動を支援する窓口等への働きかけなど、神奈川全域に丁寧な広報をしていくことを今後の課題とします。

③ エラベル助成 第 6 期

- ・ 主体的に寄付活動に取り組む意欲の高い 2 団体からの応募があり、昨年同様高い目標（180 万円と 100 万円）を掲げて 12 月より活動をスタートし 3 月 13 日まで活動を行いました。今年度よりエラベルミーティングの開催を早め、各団体の活動計画や財団の支援策について共有、対策を行いました。また、広報活動や寄付の依頼なども早めのスタートを切ることができました。寄付獲得は、過去の寄付者への働きかけや各団体の地域での活動連携、生活クラブ生協組合員へのアピールなどを行い、活動を進めました。
- ・ 3 月末の寄付募集活動の実績は以下の通りです。ワーカーズ・コレクティブメロディーは、目標を達成（118.4%）、ワーカーズ・コレクティブわかかは、達成率 76.7%、全体での達成率は 91.6%でした。

団体名	目標金額	寄付金額	寄付者数	達成率
ワーカーズ・コレクティブメロディー	1,000,000 円	1,184,391	243	118.4%
ワーカーズ・コレクティブわっか	1,800,000 円	1,380,210	221	76.7%
合 計	2,800,000 円	2,564,601	464	91.6%

- 各団体に寄付額から以下の金額を助成しました。(寄付金額の 85%)

登録団体名	助成金額
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブメロディー	1,006,732 円
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブわっか	1,173,179 円
合計金額	2,179,911 円

<参考資料>

- 第 1 期～第 13 期申請団体の推移並びに助成金額

	助成団体数	助成金額	申請数	申請金額 (約万円)
第 1 期	9	4,514,100	34	2400
第 2 期	12	3,944,950	17	700
第 3 期	11	3,822,000	34	2400
第 4 期	13	3,389,131	20	1000
第 5 期	6	1,667,633	12	390
第 6 期	7	3,245,769	18	640
第 7 期	10	2,493,230	16	490
第 8 期	13	4,000,000	20	1000
第 9 期	16	4,346,100	24	70
第 10 期	11	3,560,382	19	859
第 11 期	14	4,440,364	15	508
第 12 期	11	3,941,072	13	611
第 13 期	12	3,266,759	13	393
合 計	145	46,631,490	255	12,131

3. 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

フォーラム開催は、〈市民と市民活動を結び、社会課題解決を目指す市民活動を応援する〉という財団のミッションが助成活動にとどまらず、市民・地域団体・地域社協等との新たなネットワークをめざす財団としての社会的認知、地域や申請団体・賛同団体の掘り起しにつながっています。

（1）第2回居場所フォーラム

① 2019年度の居場所フォーラム「人と人がつながり支えあう地域づくりに向けた居場所の可能性」を10月26日（土）に開催し50名が参加しました。沖縄大学名誉教授加藤彰彦氏による講演「共に生きる場の再創造～活動の現場からの提言～」、福祉たすけあい基金助成団体による活動報告とディスカッションを行いました。

② パネルディスカッション登壇団体である、ら・ぱれっと（第9期、11期、13期助成団体）、みんなの居場所よこすか（第11期、13期助成団体）、ひだまりの家プロジェクト（第11期、13期助成団体）の3団体と実行チームを形成してすすめました。

<第1回実行委員会> 6月27日

・各団体の活動共有、フォーラム全体概要・開催趣旨意見交換

<第2回実行委員会> 8月3日

・各団体視察、組み立て意見交換

<第3回実行委員会> 9月27日

・フォーラムの進め方、発表資料についての意見交換

③2020年3月に報告書を発行し、後援団体・協賛団体等に配布しました。

（2）フードバンクかながわと共催し、食支援地域フォーラムを開催しました。

① 開催目的

- ・ 食支援活動は地域密着で参加型という特徴を持っています。持続的な食支援活動を進めるためには、提供者（生協、フードドライブ主催団体、農家・農協）と支援団体（フードバンク、社協、子ども食堂など）の地域的なネットワークづくりが欠かせません。そこで、食支援に取り組む地域の様々なアクターが一堂に会し、活動共有・ネットワークづくりをすすめることを目的にフォーラムを開催しました。
- ・ フードバンクかながわの立ち上げに係わり、地域のフードバンクや子ども食堂など多くの団体へ助成支援を行っている観点から、フォーラム開催準備に積極的に関わりました。

② 実施報告

- ・ 10団体（JA横浜、お福分けの会、横浜市社協、泉区社協、ユーコープ店舗、コミュニティしんばし食堂、WE21 ジャパン泉、フードバンクかながわ、かながわ生き生き市民基金）で実行委員会をつくり、フォーラムの企画づくりに取り組みました。開始概要は以下の通りです。

企画名 : 食支援の輪を拓けよう

開催日時 : 2019年5月22日（土）13:30～16:00

開催場所 : JA横浜みなみ総合センター

参加人数：34名

- ・食支援のネットワークは日常的な活動共有や団体間のつながりが大事であり、横浜で“区単位”の企画としたことは成功でした。今後の地域フォーラム開催モデルとなりました。
- ・本企画はフードバンクかながわの農水助成対象事業（広報・謝金等が助成対象）として行ったこともあり、市民基金としては会議費用（15,960円）の一部（2,730円）を協賛金として負担しました。

(4) 市民ライターの育成・活躍の場をつくりました。

- ・取材計画に沿って各市民ライターが助成団体等を取材し、情報発信を行いました。

取材先（助成団体）	掲載先	担当市民ライター
田中夏子先生講演会	HP	織田千寿さん
ひだまりの家プロジェクト	生活クラブ生協機関紙えぼ 7, 8月号	浅井ちえろさん
コミュニティカフェ 6丁目クラブ	生活クラブ生協機関紙えぼ 9, 10月号、NEWS LETTER vol.2	三沢美恵子さん
NPO 法人 GOOD JOB	生活クラブ生協機関紙えぼ 11, 12月号	種田泉さん
NPO 法人青空保育ぺんぺんぐさ	生活クラブ生協機関紙えぼ 1, 2月号	大淵有香さん
横浜みどりの学校ひまわり	生活クラブ生協機関紙えぼ 3, 4月号	真壁尚子さん
子どもひろば「みらい」	NEWS LETTER vol.1、HP	増田澄恵さん
お福わけの会	HP LETTER vol.6	浅井ちえろさん
NPO 法人みんなの居場所よこすか	福祉たすけあい基金レポート冬号、HP	種田泉さん
NPO 法人ワカズ・コレクティブすけっと	福祉たすけあい基金レポート夏号、HP	増田澄恵さん
NPO 法人ワカズ・コレクティブメロディー	HP、NEWS LETTER vol.4	三沢美恵子さん
本もく座	HP、NEWS LETTER vol.5	田久保薫子さん
第11期福祉たすけあい基金贈呈式	HP	真壁尚子さん
居場所フォーラム	HP、NEWS LETTER vol.3	田久保薫子さん
第12期福祉たすけあい基金贈呈式	HP、NEWS LETTER vol.4	御崎律子さん

- ・助成団体取材し、寄付者の視点で活動を発信するライターを育成するために、市民ライター講座（4回連続講座）を生活クラブ共済たすけあい委員会と共催で開催しました。書くこと、ライター活動に関心を持つ9名が参加し、全員が修了しました。市民ライター3期生は2020年度より助成団体への訪問・取材を通じて情報発信を行います。

(5) 横浜北生活クラブとの共催によるフォーラムの開催

- ・11月25日（月）に横浜北生活クラブ生協との共催による、子育て・孫育てフォーラム「子どもの発達への不安、ひとりで抱えていませんか？」をハウスクエア横浜にて開催しました。福祉たすけあい基金アピールと福祉たすけあい基金 BOOKvol.8の配布を行いました。

4. 相談助言事業（公益目的事業3）

(1) 公益社団法人フードバンクの事務局業務の受託

- ・ 2016年度当財団が主催した研究会を契機に始まったフードバンク検討は、県内の非営利協同組織12団体によるフードバンク事業を行う中間組織の設立に結実しました（2018年3月）。当財団は、公益社団法人フードバンクかながわに参加するとともに2018年7月から事務局業務（広報・ネットワークづくり）を受託しています。
- ・ 広報業務（年次報告書作成、フードバンク通信発行、ホームページ更新管理など）、研究会事務局業務、フォーラム企画・準備などを担っています。

(2) 遺贈寄付相談に向けた取り組み

- ・ 生活クラブ、福祉クラブ、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、女性・市民コミュニティバンク、WE21 ジャパン、地球の木とともに3月より「遺贈寄付相談・市民ネット準備会」を開催し準備を進めました。8月31日に「遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会」を立ち上げ、運営委員、事務局として参画しました。
- ・ 10月からの相談窓口の開始に向けて、ホームページの開設、リーフレットの作成、スタート集会や相続セミナーに向けた広報活動などを行い、10月1日よりかながわ生き生き市民基金内に相談窓口を開設し、電話相談対応を行いました。
- ・ 財団としては、新たな遺贈寄付の受け入れプログラム「子どもの貧困にたちむかう市民活動応援基金」 「冠基金」を設立しました。（7月理事会で承認）
- ・ 12月には2回連続による「相続セミナー」を開催し、延べ19人の参加、9人の個別相談を行いました。

5. 広報発行事業（公益目的事業4）

(1) 年次報告書を作成しました。

- ・ 財団活動をアピールするツールとして年間の活動内容がわかる資料を作成しました。
- ・ 賛助会員、関係団体に配布しました。また寄付依頼や賛助会員拡大として活用しました。

(2) 「福祉たすけあい基金Book Vol. 8」の発行

- ・ 第11期及び第12期福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレットを11月に発行しました。写真の掲載を増やし、読みやすさを追求し、カラー化しました。市民基金関係者への配布に加えて、助成申請団体拡大でも活用するために製作部数を増やしました（昨年500部→1,000部作成）。

(3) 「福祉たすけあい基金レポート2019年夏号、冬号」の発行

- ・ 生活クラブ組合員向けの活動報告書を作成し、年2回、コモンズ組合員には全員、デポー組合員にはデポーフロア配架にて配布しました。

- ・生活クラブユニオン共済たすけあい委員会発行のニュース「福祉たすけあい基金に参加しましょう」と同じ月（7月、配布週は異なる）に組合員に届けたことによって、相乗効果を狙いました。夏号配布後の7、8月の新規参加数は126名となりました。
- ・冬号は11月に発行し、主に財団の助成活動、市民ライター講座や遺贈セミナーのお知らせを行いました。1月の寄付者への領収書送付にも同封して配布しました。

(4) ホームページの一部改良

- ・ワーコレほっとリンクへの作業の委託を継続し、タイムリーな情報発信を行いました。
- ・ホーム画面を改良し掲載記事や情報の整理を行いました。
- ・10月から開始した、遺贈寄付相談市民ネットのホームページともリンクを行いました。

(5) ニュースレターの発行

- ・新たな広報の手段として市民基金ニュースレターを作成し、10月1日から毎月1回発行しました。ニュースレターは、メールマガジンによる配信と印刷媒体として配布し、今後も定期的に発行します。

6. 法人運営

1) 機関会議運営

(1) 理事会

- ・定例理事会を5月、7月、9月、11月、3月に、臨時理事会を6月に開催しました。各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第1回(5月度理事会) 5月11日開催	①2019年度定時評議員会議案の決定 ②事業指定助成プログラム『エラベル』2018年度総括及び2019年度活動計画・募集要項の承認 ③選考委員、選考部会メンバーの承認 ④フォーラム「食支援の輪を広げよう」への共催
第1回臨時理事会 6月1日開催	① 理事長の選任、②副理事長の選任、③専務理事の選任
第2回(7月度理事会) 7月27日開催	①第12期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ②2019年度財団主催フォーラム「居場所フォーラム」の承認 ③遺贈寄付相続・市民ネット運営委員会の発足及び遺贈寄付プログラム案の承認 ④2019年度定時評議員会開催日程

第3回(9月度理事会) 9月14日開催	①福祉たすけあい基金第13期実施計画・申請要項の承認 ②第3期市民ライター講座の承認 ③第12期福祉たすけあい基金贈呈式・交流会・エラベルキックオフの開催計画の承認 ④基金レポート2019冬号の発行計画と予算の承認 ⑤特定資産の取り崩しと公1事業の拡大計画について ⑥遺贈寄付相談窓口開設に伴う広報予算及びスタート集会開催予算の承認
第4回 (11月度理事会) 11月16日開催	①2019年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②第6期事業指定プログラム「エラベル」登録団体の選考報告と実施計画予算の承認 ③福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行に係る予算承認 ④2019年度中間監査報告
第5回(1月度理事会) 1月18日開催	①2020年度事業計画並びに収支予算第一次討議 ②2019年度第1回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ③2020年度年間会議日程
第6回(3月度理事会) 3月7日開催	①2019年度臨時評議員会議案の決定 ②第13期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ③第14期福祉たすけあい基金募集要項並びにチャートの承認 ④福祉たすけあい基金贈呈式の開催方針 ⑤フォーラム「藤沢にフードバンクをつくろう」共催の承認

(2)定時評議員会の開催

- ・6月1日に定時評議員会を開催し2018年度事業・活動報告並びに決算書を承認しました。今年度は役員(理事)の改選期であり理事22名が選出されました。また、評議員の改選期ではありませんでしたが補充選出が行われ、評議員4名が選出されました。
- ・3月21日に開催予定であった臨時評議員会は、新型コロナウイルスの感染症が拡大している状況を鑑み中止としました。全評議員の書面による同意(みなし決議)をもって2020年度事業・活動方針並びに予算を承認しました。

(3)参加状況

・理事会

	5月度	6月度臨時	7月度	9月度	11月度	1月度	3月度
理事	16/22	13/22	18/22	17/22	15/22	16/22	16/22
監事	2/3	3/3	2/3	3/3	2/3	3/3	2/3

・評議員会

	定時評議員会 (6/1)	臨時評議員会 (3/21)
評議員	16/25	全評議員 (25) によるみなし決議

以上

福祉たすけあい基金 第12期助成団体報告 (2018/08/11)

名 称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額(円)
特例認定 NPO 法人 くるみ-来未	川崎市	コミュニティスペース立ち上げによるインクルーシブな地域社会づくり～5年間の自閉症支援活動を起点に～	耐震の為の工事費用	1,000,000
横浜みどりの学校 ひまわり	横浜市 青葉区	「咲け！子供たち！ひまわりの鶏飼育プロジェクト」	鶏舎立替の為の材料費	329,345
福島の親子とともに・平塚	平塚市	福島の親子の保養受入れと講演会	交通費、講師謝礼	300,000
NPO 法人ぜんしん	神奈川県	不登校・ひきこもり親子を支援するゲーム大会と団体説明会の開催	講師謝金、スタッフ人件費・交通費、パンフ・リーフ印刷費等	300,000
あすのち	横浜市、 座間市	学習サポート「夕暮れ学級」、地域のコミュニティ「さつきプロジェクト」	印刷費(チラシ、活動報告書、卒業冊子、教材)、物品購入費等	120,000
NPO 法人湘南市民メディアネットワーク	湘南地域	不登校、ひきこもり・貧困等の困難を抱える青少年支援の自己肯定感の向上、社会参加支援のための映像作品制作ワークショップ事業	ファシリテーター費用、交通費、通信費	300,000
OHANA	神奈川県	OHANA 湘南プロジェクト	OHANA 湘南プロジェクト	350,000
サーフ・リレイションシップ活動団体 AONOWA	湘南地域	障がい者、高齢者を対象としたサーフ・リレイションシップ活動	物品購入費(サーフボード、サップボード)、サーフボードレンタル費用	220,392
PD Place	相模原市	パーキンソン病当事者が主体となる地域における健康増進活動	交通費、講師謝金、チラシ印刷費、会場費、通信費、物品購入、消耗品	400,000
認定 NPO 法人 エンパワメントかながわ	神奈川県	ティーンズサポーター(デートDV専門相談員)派遣モデル事業	相談員謝金	200,000
緊急夜間一時避難所 「ラ・シールド横須賀」(安見会)	横須賀市	女性のための緊急夜間一時避難所「ラ・シールド横須賀」	交通費、チラシ印刷費、会場費、講師謝金、会議費、物品購入費	421,335
合計				3,941,072

福祉たすけあい基金 第13期助成団体報告 (2019/03/9)

名 称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額 (円)
ワーカーズ・コレクティブわにわに (2回目申請)	大和市	子どもも大人もともに育ちあう場「みんなのスペースわにわに」	家賃の一部補助 コミュニティスペースの備品 (オープンレンジ) の購入	400,000
クローバーの会	相模原市	聴覚障害者と話してみよう!	会紹介パンフ、筆談入門ガイド、講演会チラシ作成費、講師謝金、物品購入費 (ビブス、のぼり旗など)	241,464
NPO 法人 みんなの居場所よこすか (2回目申請)	横須賀市	み～なの家	広報費 (看板作成費) 1 講師謝金、物品購入費 (プロジェクター、スクリーンなど)	260,000
おはなしの風	横浜市 泉区	みんなの絵本のおうち	オープニングイベント、物品購入費 (椅子、テーブル、掃除機、冷蔵庫、扇風機、座卓)	394,065
ら・ぱれっと (3回目申請)	茅ヶ崎市	お母さんと赤ちゃん、シニア女性たちの集えるカフェ事業と若者の居場所づくり	エアコン購入費 家賃補助、講師謝金	310,000
横須賀まちの保健室プロジェクト	横須賀市	医療専門職 (コミュニティナース) によるまちの保健室を中心とした無料相談活動の組織化	スタッフ交通費 パンフ製作費 通信運搬費 物品購入費	66,050
NPO法人 おでかけ綾瀬	綾瀬市	福祉有償運送 (移動サービス)	人件費 (交流室活動) 通信運搬費 広報費 (パンフ作成) 物品購入費 (パソコン、車両用マグネットほか)	400,000
ぱくぱく食堂 (3回目申請)	綾瀬市	子ども食堂「ぱくぱく食堂の運営」(3年目の活動)	メンバーの交通費	120,000
NPO法人 結の樹よってけし (3回目申請)	清川村	長年住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり～つなぐ・つながる・支え合う 小さな村のたすけあい活動-	イベント広報費用 諸謝金 (イベント講師) 広報 (看板設置費用)	400,000
ひだまりの家 プロジェクト (2回目申請)	座間市	交流スペースの活用に向けた改装 (1階スペース床張り替え)	床修繕費用	290,180
子どもひろばみらい (2回目申請)	鎌倉市	「みらい文庫」の開設	書籍代 リーフレット作成	85,000
つばき学習会 (3回目申請)	川崎市	つばき学習室～学習支援、アウトリーチ+体験活動～	スタッフ交通費	300,000
合計				3,266,759

